

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式							
M212P101		看護学概論 (Introduction to Nursing and Nursing Practice)					基礎看護学									
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態								
必修	1	1	医学部看護学科	通年	月4,火4	日本語		複数(共同)								
担当教員	氏名 清村紀子、新任教員、佐藤祐貴子、他、原田千鶴(非常勤)、山口育子(非常勤) E-mail kmnoriko@oita-u.ac.jp 内線 5032															
授業の概要	本科目では、「看護とは何か」という問いを中心に据え、「看護学」の学問的基盤や「看護実践」における主要概念の学問的特徴について理解を深める。また、看護職の活動領域や役割・機能について学び、「看護の独自性」について考察する。これらを通じて、「看護学」および「看護実践」への関心を高め、自己の中に「看護とは何か」という問いの萌芽を育むことを目指す。															
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1 「看護とは何か」という問いをもとに、看護学の学問的基盤を説明できる。																
目標2 看護の語源や看護の歴史の変遷を学び、看護の本質を理解・考察する。																
目標3 看護の先人の思想や実践を学び、看護の本質や専門性について考察する。																
目標4 看護実践における主要概念(健康・人間・環境・看護)について、それぞれの定義や相互関係を説明できる。																
目標5 患者/クライアントや家族との関係において、信頼と尊重を築くためのコミュニケーション方法を考え、説明できる。																
目標6 看護実践を支える法的・倫理的基礎知識を理解し、その意味と役割を説明できる。																
目標7 看護職の役割・機能・責務について、基本的な考え方を理解し、説明できる。																
目標8 看護の本質の「ケア」「ケアリング」について説明できる。																
目標9 1年間を通じて考えた「看護とは何か」を言語化できる。																
目標10																
各DPへの関連度(計10)									5			3				2
授業の内容																
1 コースオリエンテーション・学び合う仲間と知り合う 自己紹介																
2 *看護の理論, 研究, 実践の関連と発展 講義																
3 看護という営みとその歴史 講義																
4 看護の先人の考える「看護」(1) F. ナイチンゲール 講義・演習 合同																
5 生活統合体としての「人間」 講義・演習 合同																
6 多様な健康の定義と影響要因 講義・演習 合同																
7 チーム医療と多職種連携・協働 講義・演習 合同																
8 *看護の「法」と「倫理」 講義・演習 講義																
9 患者と医療者のコミュニケーション 講義																
10 *看護の先人の考える「看護」(2) V. ヘンダーソン 講義・演習																
11 医療・保健・福祉システムにおける看護の役割 講義・演習																
12 看護の本質「ケアリング」 講義・演習																
13 看護の本質「ケアリング」 講義・演習																
14 「看護」の学び 演習																
15 「看護」の学び プレゼンテーション まとめ これからの看護の機能と役割																
ラーニング	A:知識の定着・確認	リフレクションシート、BAZZセッション、グループワーク、文献講読、発表、自己の看護観の記述・プレゼンテーションを通じて、主体的な学びを促進し、思考力・表現力・自己理解を深めることを目指す。				工夫その他の	先進医療科学科との前期合同講義であることを活かし、異分野学生との交流、対話型学習、視聴覚教材の活用を組み合わせることで、学生が主体的に考え、自己の「看護」のイメージの変化を探求できる仕組みを取り入れている。									
	B:意見の表現・交換															
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	本科目では、テキスト(各0.5h)・オンデマンド教材・聴覚教材(1h×2本)・長期休暇中の文献抄読(3h×2)														
	事後学修	講義後リフレクションシート(0.5h×15) 課題レポート(0.5~1h)														
	想定時間合計															
教科書	志々岐康子編; ナーシンググラフィカ 基礎看護学 看護学概論 (第7版) 2022 和田収 南裕子編 看護大辞典 第2版 医学書院 2010 F. ナイチンゲール; 看護の覚え書 第8版 現代社 2023 V. ヘンダーソン 看護の基本となるもの(最新装版) 日本看護協会出版会 2016 M. メイヤロフ 看護の本質 ゆみる出版 1981															
参考書	講義に際して随時紹介															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	各回の講義後リフレクションシートの提出	30%										
	期末テスト(前期)	40%										
	課題レポート(後期)	30%										
注意事項												
備考	科目の連絡や資料配信にはMoodleを活用する。 生との合同講義となる。											前学期は、先進医療科学科学
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	看護師 清村紀子、新任教員、佐藤祐貴子他											
教員以外で 指導に関わ る実務経験 者の有無												
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	原田千鶴 国内外での看護師・看護管理者経験 山口育子 COMLの理事・電話相談員・SP等の担当											
実務経験を いかした教 育内容	COMLでは、患者が自立・成熟し、主体的に医療参加することを目指し、患者・医療者双方のコミュニケーション能力を高める活動に取り組んでいる。その経験をもとに医療現場における良いコミュニケーションを築くための知識や態度を学ぶ											